

次のとおりとした。

ア 複数の教科等にかかわる内容

＜郷土理解学習活動＞

イ どの教科等にもかかわらない内容

(学校行事との関連) ＜立志学習活動＞

③ 「学習課題の設定方法・選択方法」については、教師が設定した複数の課題の中から選択し学習するようにした。

④ 途中で学習課題を変更することも予想されるので、複数の教師を配置し、常にどの教師にも相談できる体制づくりに努めた。

(2) 時数時間の設定と年間指導計画

① 全学年共通 ＜立志学習＞ 18時間

総合的な学習の時間＜立志学習＞年間指導計画

月	学習内容	時間	指導内容
4月	◇オリエンテーション	1	1. 趣旨説明(ガイダンス)
	◇健康・福祉学習と講話	1 ※1	1. ボランティア活動の意義と理解・講話 2. 介護の仕方とベッドメイキングなど ※創意との関連(こぶし苑)
	◇健康学習	1 ※1	1. 心肺蘇生法 人口呼吸法 ※創意との連携(消防署)
	◇健康福祉学習と実習	1 ※1	1. 福祉センターでの実習体験 2. ボランティア活動 ※創意との連携(あさひヶ丘)
	◇地域フォーラム	2	1. 農耕文化の変遷(地区センター共催)
	◇職場体験と講話		○啓発的な体験(職業についての講話) ○職業観・勤労観の形成の援助・支援 ※夏季休業中に実施
	◇健康・福祉学習	1 ※1	1. 薬物乱用防止 ※創意との連携(南会津保健所)
	◇講話(立志)	1	1. 地域の方の講話(立志の意義)
	◇国際理解教育	2	1. ALTとの連携(保護者との交流) 2. ハロウィン祭の体験
	◇地域交流	1 ※1	1. ばあちゃんの料理教室 ※創意との連携(センター食生活改善員)
◇地域フォーラム	2	1. 太平洋戦争体験(地区センター共催)	
◇講話(地域講話)	1	1. 民話を聞く(昔語り会)	
◇議会傍聴	1 ※1	1. 町の行政を知る ※創意との連携(議会事務局)	
◇地域の文化	2	1. 町の文化財を知る(民具:地区センター)	
2月	◇反省	1	1. 次年度の計画と方向付け
	合計	18	

② 縦割り集団 ＜郷土理解学習＞ 32時間

総合的な学習の時間＜郷土理解学習＞年間指導計画

月	学習内容	時間	指導内容
4月	◆オリエンテーション	1	1. 趣旨説明(ガイダンス) 2. 「明和タイム」(昨年度実績)報告
	◆テーマのアンケート調査	1	1. 追求テーマの検討(個人)
	◆グループ編成・担当教師紹介	2	1. テーマ毎のグループ編成と担当教師との顔合わせ

	◆グループテーマの決定	2	1. 調査学習と現地調査のための事前準備
10月	◆課題設定(グループテーマ)と学習の見通し	1	1. グループ毎に調査や課題追求学習 2. 計画及び課題の再検討
	◆計画作成(話し合い)	3	1. 調査学習と現地調査のための計画(手順) 2. まとめの方
	◆追究学習及び体験活動	4	1. グループ毎に調査や課題追求学習
	◆課題の確認と修正	1	1. 計画の再検討 2. 経過報告及び今後の展開の確認
	◆追究学習及び体験活動	4	1. グループ毎に調査や課題追求学習
	◆予備時間	2	
	◆発表準備とまとめ	6	1. まとめ作業とレポート作成(報告書)
	◆予備時間	2	
	◆発表会(文化祭)	2	1. 各グループによる発表会
	◆反省と次年度の検討	1	1. 反省 2. 次年度の計画と方向付け
	合計	32	

II 授業の実際(平成12年度・13年度)

1 立志学習の実例

(1) 職業体験・職場体験

従来までは、地域にある幾つかの企業を訪問し教師サイドで企業との連絡調整を行ってきた。しかし、昨年からは、体験学習の選択幅を拡大するとともに、生徒自らが計画書を作成し、家庭の協力を得て保護者などが勤務している職場に依頼して体験する方法で、共同で取り組んだ。夏季休業中に全学年対象で実施し、都合のつかない生徒は、地区センターの協力を得て、地域行事とタイアップして実施した。受け入れ先は、32か所である。



トマトを収穫する様子

＜生徒の感想＞

・建設事務所で伝票整理や領収書の書き方を習ったが、漢字が分からなかったり、間違いをしたのでどんな仕事でも漢字力や計算力が大切なんだなあと思った。(2年男)